

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.46

就任のごあいさつ



広島県PTA連合会会長
山田 睦浩

日頃より、広島県PTA連合会へのご理解とご協力を頂きまして厚くお礼申しあげます。
この度、平成27年度総会において、会長を拝命いたしました、山田睦浩と申します。どうぞよろしく願います。

県P連では、子どもたちが健やかにたくましく成長することをめざし、本年度のスローガンを「子どもがいる今しかできないPTA活動に真摯に取り組もう。」とし、未来ある子どもたちに「夢と希望」を与えるPTA活動に努めてまいります。

ところが今日、子どもたちを取り巻く社会・生活環境は、大きく変化し続け、子どもの安全を脅かすような事案も増えております。

特に、ケータイ、スマホ等の電子機器を子どもたちが自由に操る時代となり、様々な問題が発生しています。

こうした問題は、使用させる側の保護者が、「知らない」、「分らない」では済まされず、「持たせないことより持つことを前提とした教育」に、保護者をはじめとするおとなが積極的に関わり、子どもたちが安心して使えるような環境を整える必要があります。

そのためには、PTA活動の主体である保護者がしっかりと学ばなければなりません。

そこで私から、新しく役員になられた方々や新入生のお子さんをお持ちの保護者の方にお願いがあります。

子どもたちは学校でいろんなことを学び、身に付け、日々成長しています。私たち保護者もPTA活動や地域活動などとおして、学び、成長しなければなりません。

しかしながら、今日、PTAの「役員が決まらない」、「役員になり手がいない」、「役員は何をすればよいかわからない。」など、役員に対する不安感や負担を感じられる方が多くおられると聞きます。

こうした課題等にお応えするため、本年3月、平田前会長が中心となって「PTA活動の手引き」を作成しました。

この手引きの「はじめに」の一文に、『仲間と共にPTA活動をしてきたからこそ出会えた方もいるし、活動したからこそ経験できたこともたくさんあると思います。また、いろんな行事などの企画・運営に関わったことにより、これまであまり知らなかった学校のことや先生方、それに地域のことなども知ることができ、自分の世界が広がってきたように思います。』とあります。

実際にPTA活動に関わって頂くことが一番いいのですが、こうした活字媒体とおして、より多くの役員の方々に活動のノウハウを広めて頂きたく、改めてこの手引きの活用をお願いする次第です。

今後とも、本連合会に対し、なお一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。

新しい役員が決まりました

平成27年度 広島県PTA連合会

未来ある子どもたちに「夢と希望」を与えるPTA活動に努めてまいります。

このため広島県P連役員としての自覚と責任をもって行動してほしい。

(山田睦浩会長)



役職名	名前	所属市町村	所属学校	委員会
会長	山田 睦浩	世羅郡	甲山小	委員会
副会長	小川 剛司	大竹市	大竹中	広報委員会
副会長	向井 恵美	廿日市市	七尾中	母体委員会
副会長	大場 由美子	東広島市	中央中	教育研究委員会
副会長	建内 邦高	三原市	三原小	広報委員会
副会長	内藤 行彦	福山市	向丘中	教育研究委員会
副会長	古田 俊明	広島市	能美中	総務委員会
副会長	川口 敏明	豊田町	豊田小	教育研究委員会
理事	中川 美香	呉市	昭和小	母体委員会
理事	川本 康裕	安芸郡	坂小	総務委員会
理事	中村 和美	東広島市	寺西小	母体委員会
理事	田邊 介三	安芸高田市	甲立小	教育研究委員会
理事	山田 千絵	山県郡	豊平中	母体委員会
理事	木曾 奈美	尾道市	久保中	母体委員会
理事	上野 博士	府中市	卡永小	広報委員会
理事	赤木 俊二	神石郡	油木小	母体委員会
理事	藤原 絵	福山市	大府中	教育研究委員会
理事	石田 泰清	庄原市	口和中	総務委員会
理事	梶田 公貴	三次市	作木中	母体委員会
監事	本井 公博	大竹市	玖波小	広報委員会
監事	藤井 忠一	府中市	美濃小	母体委員会
監事	齋藤 英二	安芸高田市	美濃小	母体委員会

平成27年度 定例総会

6月4日(木)、広島ガーデンパレスにおいて、平成27年度広島県PTA連合会定例総会が開催されました。

平成26年度事業報告及び決算、27年度事業計画並びに予算の承認、そして2年間の平田体制を受けて、世羅郡P連の山田新会長をはじめとする新役員が承認され、27年度の活動がスタートしました。

今年度は「子どもがいる今しかできないPTA活動に真摯に取り組もう」をスローガンにス

タートしましたが、子どもたちを取り巻く環境は大変厳しく、変化の著しい時代となっています。

このような中で私たち保護者は、家庭・学校・地域との連携を図りながら、たくましく思いやりのある子どもに育てていくために、PTAのネットワークを十分に活用したいと思っています。また、私たち保護者自身も、PTAという学びの機会や場を十分に活用し、積極的にPTA活動を行いながら、子どもと共に成長できるようにしていきたいと思っています。

(広島県P連副会長 小川剛司)

全小・中学校PTA会長研修会 報告

定例総会当日の午後、広報紙コンクルールの表彰式に続いて、本研修会が開催されました。

当日は、平日にも関わらず、三〇〇人を超える参加者のもと大変盛り上がりがあった研修会となりました。

講師は道徳教育のスペシャリストの横山弘弘先生で、現在、日本道徳教育学会名誉会長を務めておられます。

お話しとても面白くあっという間に時間が経ってしまいました。「こころは見えるか」というお話では、言葉・行動・視線などを通じて「こころ」は見えるというお話はなるほどと思いました。また、「キレる

子どもには愛情を持って接しないといけ

ない。人の愛情だけでなく時として大自然の愛情も必要だ。」「国語的には愛の反対後は憎しみだが、実態としては無関心という言葉が当てはまる」などといった話はとても印象深く残っています。

道徳教育というと、何かしら堅苦しい印象がありますが、日々の生活の中で心がけていくことでできるものではないかと思わされたのは大きな収穫でした。

研修会に参加された方々も大いに得るものがあつたことと思います。今日の学びを明日からの生活やPTA活動の中で生かしていただけることを願っております。

(広島県P連理事 赤木俊二)



全小・中学校PTA会長研修会 分科会

10分科会に分かれ、グループ討議

参加者の地域性も学校規模も様々ですが、各学校が抱えている悩みや課題を、「我が校自慢」も交えながら、活発に意見交換が行われました。

また、初めて役員になった不安や二年目を迎えての少しは余裕ある発言など、多様な意見・感想をいただきましたので紹介します。

《PTA活動として目指すもの》

- ・役員が負担にならず楽しみながら活動することが、よりよい活動につながるべく、子どもも喜んでくれます。
- ・子どもを通じて親として成長できる場であり、情報共有・コミュニケーションのとれる場所でもあります。
- ・PTAと地域の一体化した活動が重要であり、地域や学校との連携が大切です。

《個人の意見・感想》

- ・みんな悩みを持っているが、情報交換することで楽になるし、解決策が生まれてきます。できることは今すぐ実践します。
- ・学校によつては役員の選出方法なども異なり参考になりました。また、子どもに対しての学校の取り組み、親としてのコミュニケーションの取り方などさまざまな点であり、学ぶことも多く有意義な会でした。
- ・分科会方式を取り入れ3年目になるが、多くの方が分科会の運営や進め方について良い評価をされている。こうした中、学校規模別のグループ分けを希望されている方も複数おられました。
- ・今年はグループの発表がなかった。来年もできればこの方式でお願いします。「意見多数」



(広島県P連理事 木曾奈美)

お知らせ

平成28年度定例総会及び全小・中学校PTA会長研修会

開催日 平成28年6月2日(木)

場所 広島ガーデンパレス(広島市東区光町1-15)

国内 研修事業に 参加して

平成26年度（公社）日本PTA全国協議会主催の国内研修事業が沖縄県渡嘉敷島で
本年3月26日～29日の4日間行われ、広島県P連から2名の中学生が参加しました。



「渡嘉敷島の海に感動！」

庄原市立比和中学校

小田 采奈

私は、日本PTA国内研修で渡嘉敷島に行ってきました。渡嘉敷島では、主に平和学習や野外炊飯、村内散策、海洋研修、トークライブ、ワークショップをしました。私は、その中で海洋研修が一番心に残っています。渡嘉敷島の海は、水が透明でとても綺麗でした。砂はさらさらしていて掘るとサングが出てきて驚きました。シュノーケリングで海の中をのぞくとイソギンチャクやサングなど、ここでしか見られない魚にもたくさん出会う事ができました。特にカクレクマノミ、ナンヨウハギが色鮮やかで、かわいかったです。現在、海の中には海がめが六匹いるそうですが、今回は見る事ができなくて残念でした。

私はこの研修を通して、私の住んでいる県とは違う自然の美しさや豊かさ、人々の温かさを体感することができました。また、全国の同年代の人たちとふれあう中で、楽しく学ぶことができました。私は、この研修に参加することができて本当によかったです。

「自分へのチャレンジ」

大竹市立大竹中学校

岡 駿



この四日間の研修で、たくさんの人と交流を深めることができました。最初はみんな知らない人で、話しかけることすら難しいことでしたが、「チャレンジ」という目標をもとに積極的に話しかけて、交流を深めることができました。私がこの研修で心に残っていることは、二日目に行った平和学習についてです。この研修をするまでは、平和の大切さについてあまり考えていませんでした。

しかし、この平和学習で実際に写真を見たり、戦争を体験した方から話を聞いたり戦争の悲惨さについて、学校では学べないことを学び、平和な時代をいつまでも続けていかなければいけないと心から思いました。

私はこの研修でたくさんのかたちを学び、色々なことにチャレンジしました。これからも学んだことを忘れず「自分へのチャレンジ」を目標に、さらなる高みを目指して頑張りたいです。

県P連役員のご挨拶

広島県PTA連合会 第38代会長 平田 誠治

6月4日の平成27年度定例総会において、会長職の任を終えることになりました。これまで県P連の副会長一年・会長二年を務めさせていただき、この間、県内PTAの仲間たちと有意義な交流を深めることができたことを大変ありがたく思います。

私たちを正しい方向に導いていく必要があります。

また、広島県教育委員会の方々ははじめ、多くの関係者の皆様には、県P連に対してご指導・ご鞭撻いただき感謝いたしております。

しかし、私たち保護者は「大人の先輩とはいえ、家庭教育のプロではないので、しっかり勉強しなければなりません。」

私たちの手段や方法として、PTAというコミュニケーションを利用した情報収集や会員同士での意見交換を行うことがあります。

そのための手段や方法として、PTAというコミュニケーションを利用した情報収集や会員同士での意見交換を行うことがあります。

私たちのために「子どもたちのために」を大前提に活動しています。保護者は子どもたちのために衣食住の面倒を見たり、家庭内でしつけをしたりします。

中でもPTA活動への参加の任意性を問う話題や、役員の話題ばかりがクローズアップされ、会員の間でも不安感が生じていますが、PTAの目的を会員同士で共有できるような意見交換していけば、理解が進むのではないのでしょうか。

今後とも会員の皆様方には、県P連に対しましてご理解ご協力を賜りますよう、また、県P連は会員の皆様のご期待に応えていただきますよう要望いたします。退任のご挨拶とさせていただきます。

今後とも会員の皆様方には、県P連に対しましてご理解ご協力を賜りますよう、また、県P連は会員の皆様のご期待に応えていただきますよう要望いたします。退任のご挨拶とさせていただきます。

このように、子どもたちは家庭や学校・地域で教育され、学ぶことで少しずつ大人になって行きます。その成長過程において、大人としての先輩である私たちは、子ども

今後とも会員の皆様方には、県P連に対しましてご理解ご協力を賜りますよう、また、県P連は会員の皆様のご期待に応えていただきますよう要望いたします。退任のご挨拶とさせていただきます。

広島県教育委員会・
広島県PTA連合会表彰

受賞おめでとうございます

応募校数小学校29校・中学校15校の中から、次表のとおり、優秀賞・会長特別賞が選出され、6月4日の会長研修会全体会において表彰されました。

小・中学校PTA広報紙コンクール表彰



広島県教育委員会教育長感謝状贈呈

退任役員感謝状贈呈

賞	学校PTA名	広報紙名
優秀賞	東広島市立郷田小学校PTA	やまびこ
	呉市立三津口小学校PTA	さくら坂
	尾道市立土堂小学校PTA	TIIPRESS
	尾道市立栗原小学校PTA	栗つこタイムズ
	尾道市立三幸小学校PTA	MYUKI LIFE
	尾道市立日比崎小学校PTA	ひびき
	尾道市立高西中学校PTA	鶴羽ヶ丘
	尾道市立向東中学校PTA	地の塩
	福山市立広瀬中学校PTA	思案の丘
	神石高原町立神石高原中学校PTA	ひかりのそのさきへ
会長特別賞	東広島市立八本松小学校PTA	かしの木
	三原市立宮浦中学校PTA	みやうら

広島県PTA連合会の会長ならびに副会長として、広島県教育委員会との連携や本県PTA活動の推進にご尽力された功績が認められ、次のお二人に感謝状が贈呈されました。

平田誠治会長
増原和子副会長

平成26年度退任の理事・監事15人、評議員・代議員38人。上記、教育長感謝状2人の延べ55人の受賞者を代表して、平田誠治前会長が受賞され、謝辞を述べられました。

PTA会長・役員経験者からの一言

- 卒業式の式辞の時、「本日はおめでとうございます」というところを、来賓接待の流れで、「本日はありがとうございます」と言ってしまう、卒業生のみなが???でした。
- 分かりやすく話そうとして、話が長くなり焦ってしまい、なかなか結びの言葉が出てこず、冷や汗をかきました。
- 老眼鏡をかけると周りがぼやけて見え、ひとりだけで音読している感じがして、意外とうまく読めました。
- あいさつする機会が増えるにつれ、仕事やPTA活動の場面などであいさつされる方の言葉遣いやしぐさなどを気にかけるようになりました。
- 具体的な事例やデータを引用するときは、出典等を前もって調べておき、参加者の構成や会場の状況などを見たらうえて判断するようにしています。（PTA活動の手引きより抜粋）

※役員の方々の経験談等をお寄せください。

充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを 壊したり、他人にケガを させてしまったら… (加害事故の補償)

インターンシップ（職場体験）やアルバイトに起因する法律上の賠償責任も対象となります。

●授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生 する急激かつ偶然な外来 の事故によるケガや病気* の補償

*病気入院補償はHプラン・Wプランのみ対象です。



団体割引適用で 割安な保険料！

団体割引25%
損害率による割引30%適用
スクールメディカルデスク24でお子様の健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・ 身の回り品などの補償 ●育英費用等

充実の補償でお子様をサポートします。 広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度はこども総合保険のベトナムームです。

この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。

詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。

この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

平成27年6月作成 募文No15-T00930



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支店 TEL：082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は左記「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP